

医療トピックス いま,世界の移植は?(2)

東区・郡元支部
(医療法人 幸良会 シーピーシークリニック) 武元 良整

[2004年12月アメリカ血液学会抄録から]

毎年,12月は血液専門医にとって特別な時期です。世界の血液学者がアメリカ血液学会に集います。そこは最新医学情報を収集するには格好の場所です。今回はその学会抄録集から(ASH online, www.hematology.org) 一部を紹介します。

1. 高齢者への造血細胞移植

鹿市医報の9月号(通巻511号,2004年,23ページ)で紹介したように移植を受ける年齢層が高くなってきています。ドイツから55歳以上の各種血液悪性疾患への移植成績が(文献1),アメリカ(MDACC; MD Anderson Cancer Center)からは65歳以上の白血病/骨髄異形成症候群への移植成績が報告されました(文献2)。表1にその内容を紹介します。驚くべきはその生存率です。ドイツの報告は1年での無病生存が40%ですから演題のタイトル Older age is no longer a contraindication when using reduced intensity conditioning. はまさにぴったりです。ここには詳しく紹介しませんが,同様にイタリアから(抄録番号5134)とフランスから(抄録番号5229)も60歳以上への移植成績報告です。将来,増加傾向にある高齢者へのがん対策が血液領域では検討されています。

表1. ミニ移植成績 - ASH報告

	ドイツ-文献1	アメリカ-文献2
症例数	40	40
年齢(中央値)	55~66(58)	65~75(68)
疾患	AML その他	AML/MDS
非再発死亡%	35	40
1年無病生存%	40	28
再発%	25	32

2. 日本の方向性

今,国内でのミニ移植適応基準は図1のように考えられます。まだ,実験的治療の性質があるため,ほとんどの症例が倫理基準に諮りながら施行されています。つまり,多施設共同プロトコールに従うまたは各医療施設の倫理委員会審査をしてからになります。図1に示したように,1. 50歳以上,3. 再発するが進行が緩慢,5. DLIが期待できる。などが施行理由です。図1の内容を繰り返しますが,2. 難治性4. 病勢が早く,強い6. 他に治療法がないからなどの理由だけで安易にミニ移植を施行してはいけません。明確な中止基準があるなど,慎重に行われる事が大切です。



図1

3. 国内の成績

厚生労働省ヒトゲノム・再生医療研究事業, 高上班の成績として(2004年2月報告)悪性リンパ腫にミニ移植施行された50歳以上, 69例の成績があります。Aggressive lymphoma (36例)とIndolent lymphoma (33例)の1年生存率はそれぞれ約55%, 90%です。Indolent lymphomaは長期予後不良である事を考えると有用な選択肢の一つになる可能性があります。同様に, 50歳以上AML (急性骨髄性白血病) / MDS (骨髄異形成症候群) に対して施行された成績では寛解期のlow riskで約50%, 非寛解期high riskでは約25%の生存率です(図2)。

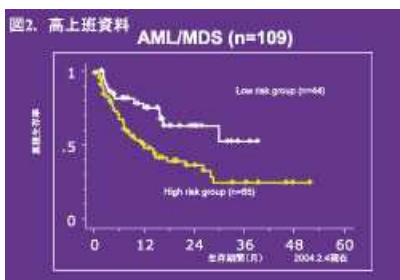
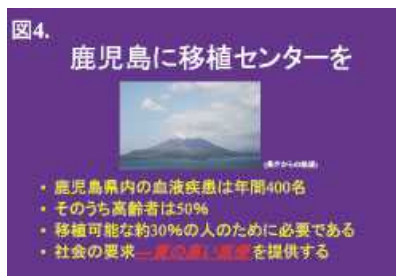


図2

4. 今後の可能性

いま, 国内の高齢化は進行中です。図3に人口10万人あたりのがん罹患率2001年度版 - 悪性リンパ腫と多発性骨髄腫 - を示します。がん統計からみると高齢化につれてがん罹患率も高くなることが示されています。しかし, 60歳からのがん化学療法は強い薬剤毒性のため, 一般的に困難です。そこで, 毒性が弱く, かつ有効な治療が求められています。ミニ移植は高齢者に対する治療法として一つの方向性と可能性を秘めています。図4はがん統計から試算した鹿児島県の血液がん症例総数です。将来, ミニ移植のためにもセンター構想として検討する時期に来ていると思われます。



☒ 3

☒ 4

御質問は次まで

E-mail : takemoto@cpc-jp.com

文 献

1. Avichai Shimoni et al. Hematopoietic Stem-Cell Transplantation from Unrelated Donors in Elderly Patients (>55 Years): Older age is no longer a contraindication when using reduced intensity conditioning. Blood 2004; 104: abstract#2750.

2. Marcos de Lima et al. Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation (HSCT) for patients aged 65 years or older with AML and MDS. Blood 2004; 104: abstract#2301.